

企画展「小金井の石造物」

市内の石造物の役割を重点的に解説して展示する。

日時 令和元年11月1日(金)～令和元年12月25日(水)

会場 小金井市文化財センター

小金井市史刊行記念講演会

『小金井市史』完成を記念して、執筆・編集された専門家4名に時代概要や市史の見所、地域の文化財について解説する。

日時 令和元年11月2日(土) 10:00～12:00

会場 小金井 宮地楽器ホール小ホール

講師 市史編さん委員会委員

定員 150名

文化財講演会「旧中村研一郎と佐藤秀三（仮）」

旧中村研一郎の建築的特徴、建築家佐藤秀三について解説する。

日時 令和元年11月17日(日) 10:00～12:00

会場 小金井市立はげの森美術館

講師 伊藤裕久氏

定員 40名

史跡めぐり

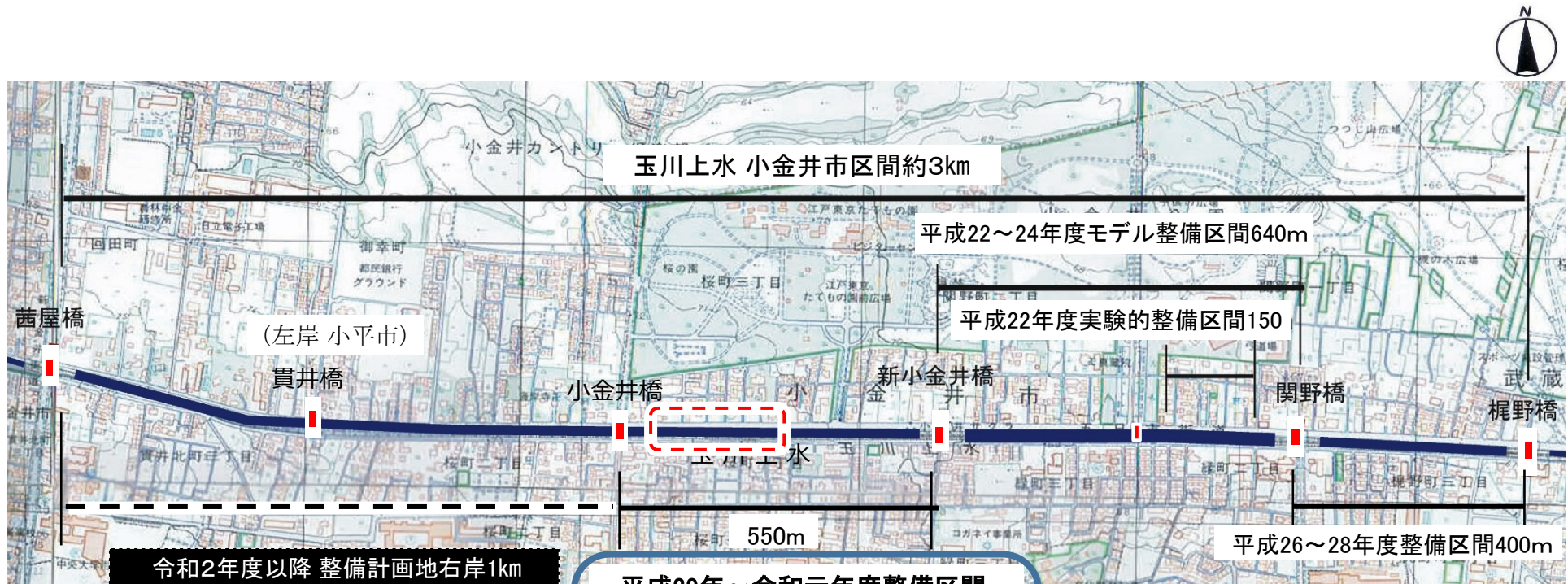
国登録有形文化財旧中村研一郎を中心に市域東部の文化財を探訪する。

日時 令和元年11月23日(土) 9:00～12:00(予定)
荒天時中止、翌日24日順延。

案内 文化財係職員

定員 30名

場所 旧中村研一郎、野川、野川中洲北遺跡、ICULoc15遺跡、他



平成29年～令和元年度整備区間
小金井橋～新小金井橋
平成29年度 15本(完了)
平成30年度 20本(完了)
令和元年度 26本(予定)

文化庁(国庫補助)による『東京都の近世社寺建築 近世社寺建築緊急調査報告書』東京都1989年に掲載された二次調査建造物(特に歴史的に重要な建造物と判断された社寺建築)
 ▲が神社で東京都全体で47棟が対象、小金井市では小金井神社本殿が選定されている。

図1 東京都区分図 陸地部
 (二次調査対象所在地・市区町村番号一覧)



3601 小金井神社 本殿 小金井市中町4-7-2

一間社 入母屋造 向拝1間軒唐破風付 柿葺

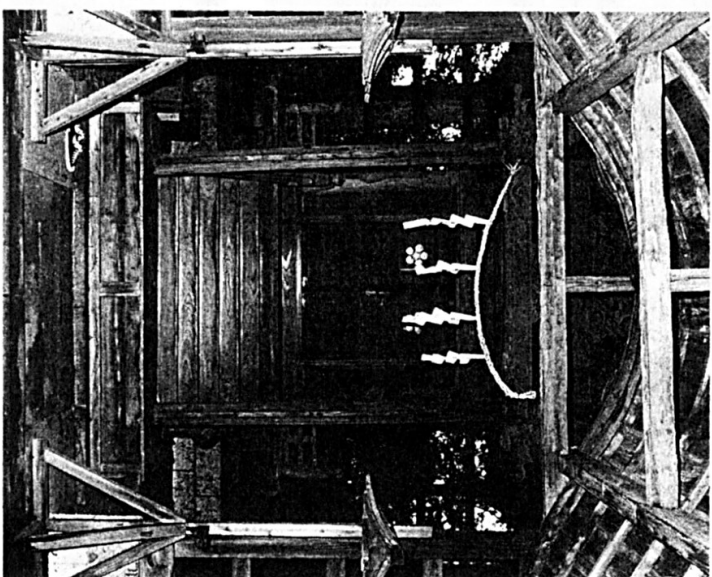
18世紀中期

小金井神社は元久2年(1205)の創立と伝える。本殿は一間社入母屋造平入で、向拝は軒唐破風付である。二軒で向拝も二軒、身舎飛檐垂木が打越す。組物は二手先尾垂木拳鼻付。

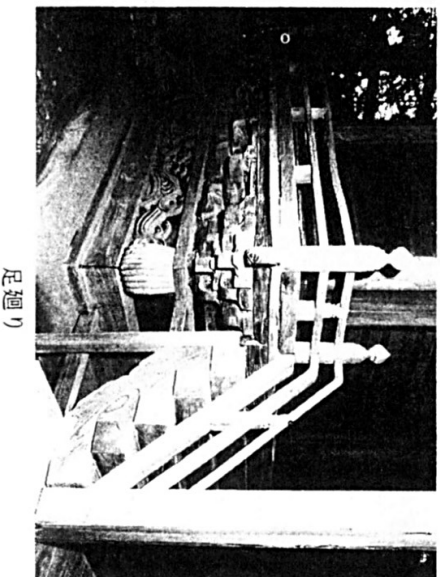
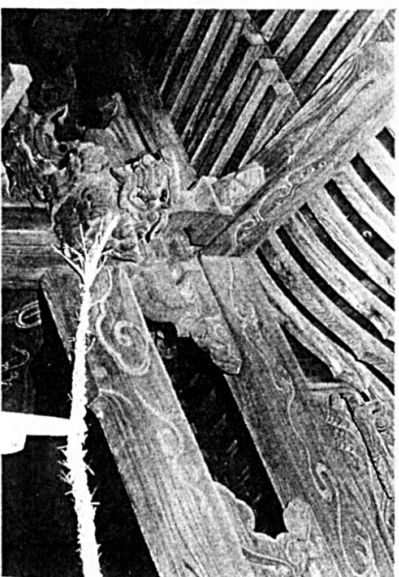
建立年代については本殿屋根裏に棟札がおさめられていると伝えられるが未見であり、確実な資料を欠くが、宝暦元年(1751)に江戸神田の工匠に座像を造らせ、このとき本殿も改造したと伝えられる。遺構の細部技法からみて18世紀中期のものと推察される。

向拝柱上に獅子鼻、龕鼻、兎毛通を雲形、桁隠菊、手挟は牡丹、軒支輪雲紋、向拝丸桁上琵琶板龍などの彫刻を配し、向拝丸桁から菖蒲桁へとつながる絵様などは特徴的。

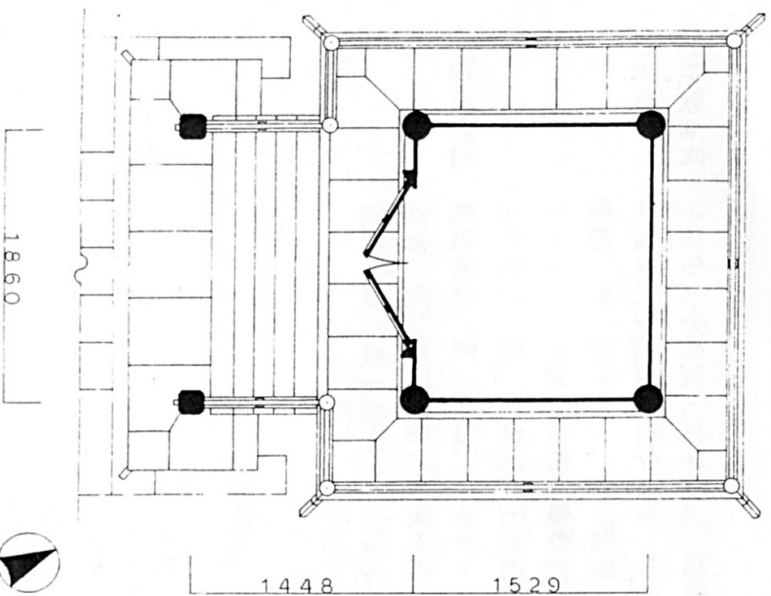
一部に欠損はあるものの全体的には保存状態は良好で、後世の改変も殆ど見られず、当初の形態をよく残していると考えられる。



正面



足廻り



小金井神社について

【正面】	庚申塔
【右面】	西 こくぶんじ
【左面】	南 ふちう道
【裏面】	なし
【備考】	笠、台座なし。頭部にほぞ穴有。



庚申塔

名称	庚申塔
造立年月日	不明(幕末～明治前期と推定)
法量	高58cm×幅26cm×奥行18cm
造立者等	不明
所在地	貫井南町4-16-26。原位置は池の上通りと庚申塚通り交差点角であった。

